

【事例】年間 20 時間かかっていたマルチ回収作業の負担軽減

和綿栽培農家が生分解性マルチフィルム「ネイチャーマスター®」を採用

化学品や合成樹脂、金属・セラミックスなど素材の総合商社である昭光通商株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：渡邊 健太郎、以下昭光通商）は、和綿（YAMATO cotton）を栽培する兵庫県の生産者における、生分解性マルチフィルム「ネイチャーマスター®」の採用事例を公開しました。

農業現場では、人手不足や高齢化を背景に、収穫後のマルチフィルム回収作業や廃棄作業の負担軽減が課題となっています。本事例では、生分解性マルチフィルム導入の背景や実際の使用感、生育期間中の評価などを紹介しています。あわせて、記事公開を記念したプレゼントキャンペーンを実施します。



インタビューに応じてくださった綿花農家の高寺さんと、収穫直前の綿花。綿花を触ると、収穫の喜びだけではなく、懐かしい気持ちが芽生えたと仰っていました

■ 年間 20 時間かかっていたマルチ回収作業は本当に減ったのか

兵庫県西宮市で和綿「YAMATO cotton」を栽培する初一寝具店の高寺直義さん。収穫まで約 7 か月を要する和綿栽培で、なぜ生分解性マルチフィルムを選んだのでしょうか。

本インタビューでは、

- 生分解性マルチフィルムは、本当に収穫まで役目を果たしたのか
- 従来のポリマルチと比べて、使用感はどうだったのか
- 栽培後の後片付けはどう変わったか

についてお話を伺いました。高寺さんが実際に感じた導入前の不安や、利用後の変化については、詳細インタビュー記事

でご覧いただけます。

https://www.shoko.co.jp/img/pdf/079_20261020.pdf

■プレゼントキャンペーン

初めての事例公開を記念し、生分解性マルチフィルム「ネイチャーマスター®」のサンプル品が当たるプレゼントキャンペーンを実施します。ぜひご応募ください。

応募方法	昭光通商のお問い合わせフォームよりご応募ください https://www.shoko.co.jp/contact/plastics/
応募時のルール	「問い合わせたい商品・サービス名」に「キャンペーン応募」とご記入ください。 また、「お問い合わせ内容」欄に、 ・記事を読んだ感想 ・利用予定作物 を記入してください。
応募期間	2026 年 11 月 6 日 23:59 まで
当選数	ネイチャーマスター®サンプル品 3 名様



（左）展張から約 6 か月経過した、収穫時期のマルチフィルムの様子



（右）はじけた綿花

■昭光通商とは

会 社 名 昭光通商株式会社

住 所 東京都港区芝浦三丁目 1 番 1 号 田町ステーションタワーN 31 階

代 表 者 名 代表取締役社長 渡邊 健太郎

設 立 1947 年 5 月

事 業 内 容 化学品、合成樹脂、金属・セラミックスなどの素材を取り扱う商社として、多様なサプライヤーと顧客

をつなぎ、調達から物流、加工、製品化までを一貫して支援するソリューションを提供しています。

海外拠点 タイ、韓国、台湾、中国

URL <https://www.shoko.co.jp/>

■本リリースに関する問い合わせ先

昭光通商株式会社

URL <https://www.shoko.co.jp/contact/>